

### イノシシなどの鳥獣被害増大 地域ぐるみで侵入防止柵



村田町ではイノシシなどの野生鳥獣の増加で農作物の被害が拡大。これまでは農家が個々に電気柵などを設置し、被害を最小限に食い止める対策を行っていたが、個々の対策では限界があるといった課題を抱えている。

同町の薄木地区では、薄木地区有害鳥獣対策協議会を設立し、鳥獣対策の専門家を招き、効果的な有害鳥獣対策の研修会や現地調査を実施。ワイヤーメッシュ柵の設置ルートなどを検討した。

宮城県鳥獣被害防止総合支援事業を活用し、地区全体の農地及び生活環境を守るために、今年度は地区住民の共同作業により7kmに及ぶワイヤーメッシュ柵を設置している。また、来年度はワイヤーメッシュ柵7km、電気柵1.2kmの設置を予定している。



共同作業に参加した農家は「地域ぐるみで協力して、農作物を守っていくことが重要だ」と話している。

